

3 調査結果一覧表

【項目】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
言語	ポルトガル語 スペイン語	中国語	中国語	中国語	タイ語 (併用言語：日本語)	タガログ語 (併用言語：英語・日本語)	英語 (併用言語：日本語)	ハングル (併用言語：日本語)	ハングル (併用言語：日本語)	ベトナム語	カンボジア語
形態	新聞(創刊年：1991)	新聞(創刊年：1992)	新聞(創刊年：1999)	新聞(創刊年：1995)	新聞(創刊年：1992)	新聞(創刊年：1991)	雑誌(創刊年：1996)	雑誌(創刊年：1989)	雑誌(創刊年：1993)	ニュースレター(廃刊)	ニュースレター(創刊年：2004)
発行元住所	東京都品川区	東京都品川区	東京都豊島区	東京都豊島区	東京都新宿区	東京都新宿区	東京都港区	東京都新宿区	東京都新宿区	発行人自宅	発行人自宅(作業は国際交流ラウンジで行なう)
発行頻度	週刊	週刊	月3回	週刊	月刊	月刊	週刊	月刊	月刊	1回/2ヶ月	年5回(重要なトピックスがある都度)
【情報提供の状況について】											
Q1. 情報提供はどのような人たちを対象にしていますか。	中南米地域からのニューカマー	在日中国人	在日中国人(比較的生活レベルの高い人)	在日中国人(在日華人)	在日タイ人(日本人の配偶者)	在日フィリピン人(日本人の配偶者)	在日外国人	在日韓国人	在日韓国人・日本人・韓国系中国人	全国の希望者(口コミ)	定住者(カンボジア人)
Q2. 情報を提供している主な地域はどこですか	集住地域(関東地方 愛知・静岡・長野・群馬)	全国(主に東京)	全国(主に関東)	全国(特に東京・大阪・名古屋)	全国(主として関東)	関東・関西 集住地域(東京・神奈川・茨城・栃木・山梨・長野・関西)	東京	全国	東京、関東地域	神奈川県(全体の6~7割)中心に全国	神奈川県(平塚市・相模原市・大和市・愛川町)・埼玉県
Q3. 提供している情報の中身(ジャンル)とその情報の収集はどのように行っていますか。またそれぞれの情報が、紙面に占める割合はどのくらいですか。	ジャンル 政治・経済 社会・事件 芸能・スポーツ 文化・歴史 買物・観光 読者の声・投書 医療・福祉 教育・子育て 社説 生活情報 行政情報 その他 収集方法 独自取材・通信社からの情報提供	ジャンル 政治・経済 社会・事件 芸能・スポーツ 文化・歴史 買物・観光 読者の声・投書 医療・福祉 教育・子育て 社説 生活情報 行政情報 その他 収集方法 独自取材・インターネット・読者投	ジャンル 政治・経済 社会・事件 芸能・スポーツ 文化・歴史 買物・観光 読者の声・投書 医療・福祉 教育・子育て 社説 生活情報 行政情報 その他 収集方法 独自取材・インターネット・読者投	ジャンル 政治・経済 社会・事件 芸能・スポーツ 文化・歴史 買物・観光 読者の声・投書 医療・福祉 教育・子育て 社説 生活情報 行政情報 その他 収集方法 独自取材 紙面割合	ジャンル 政治・経済 社会・事件 芸能・スポーツ 文化・歴史 買物・観光 読者の声・投書 医療・福祉 教育・子育て 社説 生活情報 行政情報 その他 収集方法 外注・特約記者へ依頼して記事を	ジャンル 政治・経済 社会・事件 芸能・スポーツ 文化・歴史 買物・観光 読者の声・投書 医療・福祉 教育・子育て 社説 生活情報 行政情報 その他 収集方法 外注・特約記者へ依頼して記事を	ジャンル 政治・経済 社会・事件 芸能・スポーツ 文化・歴史 買物・観光 読者の声・投書 医療・福祉 教育・子育て 社説 生活情報 行政情報 その他 収集方法 記者からの投稿、FAX・TEL によ	ジャンル 政治・経済 社会・事件 芸能・スポーツ 文化・歴史 買物・観光 読者の声・投書 医療・福祉 教育・子育て 社説 生活情報 行政情報 その他 収集方法 インターネット、専門家の諮問、日	ジャンル 政治・経済 社会・事件 芸能・スポーツ 文化・歴史 買物・観光 読者の声・投書 医療・福祉 教育・子育て 社説 生活情報 行政情報 その他 収集方法 韓国・日本のインターネット、媒	ジャンル 政治・経済 社会・事件 芸能・スポーツ 文化・歴史 買物・観光 読者の声・投書 医療・福祉 教育・子育て 社説 生活情報 行政情報 その他 収集方法 紙面割合	ジャンル 政治・経済 社会・事件 芸能・スポーツ 文化・歴史 買物・観光 読者の声・投書 医療・福祉 教育・子育て 社説 生活情報 行政情報 その他 収集方法 難民事業本部・県多言語情報紙「こ

【項目】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	教会 その他 移動販売	教会 その他 大学	食材店 教会 その他 図書館、大学	教会 その他 警察、図書館、 大学・専門学校	食材店 (週末、食材店に 出向く人が多い) 教会 その他	教会 その他 図書館、郵政 省、外務省(外 務省はエスニ ックメディア について把握 していると思 う)	教会 その他	教会 その他	教会 その他 図書館、学校、 美容室	教会 その他	教会 その他 国際交流ラウ ンジ・ボラン ティア団体・団 地・公民館
【行政との連携について】											
Q7.貴紙(誌)では、行政情報掲載するお考えはありますか。その場合、有料となりますか。	ある 記事として掲載 する場合には無 料	ある(防災・地 震・不法滞在) 有料・無料は新聞 社の判断	ある 無料	ある 有料・無料は内容 による。	(未調査)	ある 有料であるのが 望ましい	ある 内容により有料	ある 有料か無料かは その都度判断。	ある 有料、無料は内容 による。		ある 無料
Q8.災害時や緊急時に地方自治体(例えば、神奈川県)が記者発表を行った場合、情報提供を受ければ、取り上げるお考えはありますか。	ある	ある	ある	ある ニーズが高い	(未調査)	ある 阪神淡路では ボランティアと して NHK と情 報提供活動	ある	ある	ある		ある
Q9.貴紙(誌)に対して、地方自治体の側から行政情報が提供されることはありますか。	少ない。国際交流 協会の方が多い。 掲載したいもの は直接連絡を取 り合うことにな る。	ある(東京都のメ ディア連絡会を 通じて) 川崎市外国人会 議ニュースレタ ー	ない	あるようだが詳 しく把握してい ない。	(未調査)	ない 国際交流協会か らたまにある。	ある 東京都及び港区	ない	時々ある	過去にあった。 横浜市国際交流 協会から。発行を 再開した場合には 行政情報の提供 を受けたい。	ない
Q10.機会があれば、貴紙(誌)が把握している読者の行政ニーズを地方自治体に直接伝える考えはありますか。	ある	ある	ある	ある	(未調査)	ある	ある	ある	ある		ある
Q11.どのようなしくみを作ったら、より良く地方自治体と連携できると思いますか。	自治体の情報が 集結し整理され た場所を設置す る。	行政とメディア のそれぞれの担 当者が直接やり 取りできるよう なしくみ。	行政とメディア のそれぞれの担 当者が直接やり 取りできるよう なしくみ。電話・ FAX の利用	一箇所に行政情 報が集められて いて、メディア側 からいつでも情 報が取り出せる しくみ。HP なら なお良い。	(未調査)	フィリピン人の よく集まる教会 等に情報を寄せ れば、メディア以 外にも一般人も 利用できてよい。 相談センター。	定期的会合 資金援助	わからない	互いのメリット を理解しあえれ ばできる		ラウンジを通し て情報提供され れば、情報を取捨 選択しやすい。

【項目】	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
Q12.その他、地方自治体の情報提供に対して何かご意見はありますか。	(未調査)		行政の多言語情報誌にある情報を理解できる外国人は少ないと感じる。 行政とメディアがうまく連携することで、提供されている情報の理解が進めば良いと思う。	行政の情報の問い合わせ先がわからないのが現状 行政とメディアが密に連絡を取り合えるような体制があるといい。 行政の相談窓口に関する情報が欲しい。	紙面作りの方法として、タイ国旗や王の写真を掲載すると、タイ人に好感を持たれるものになるかもしれない。	情報を直接郵送することが有効 自治体の情報誌は、作りが「カタイ」。		自治体から情報提供されても、締め切りに間に合わないため、掲載できない。	メディアはより外国人に密接なので我々を活用すればもっと効果がでる。	、ボランティアで発行していたため、作業的・金銭的に負担が大きかった。このような状況下でも発行しつづけられるような対策を講じられないか。	行政の情報誌は漢字で表記されている部分が多いので、ふりがなをふって欲しい。
Q13.エスニックメディア一般について、その現状と課題は何だと考えていますか。また、今後の展望をどう考えていますか。	もっとメディアから行政に、外国人の声を伝えられるようなルートがあればよい。 今、メディアと行政はまったく接点のない状況だ。	インターネットの普及に、脅威を感じる。将来は、インターネットを中心とした展開を考えていく。	行政情報を盛り込んでいけば、よりよい紙面作りができる。	読者の多くが孤独を感じているので、「ホットライン」をより充実させたい。	(未調査)	インターネットの普及により、発行部数が減るだろうが、紙面のメリットは残る。			内容の吟味がされていないような雑誌も多く見られるが、何とかならないものか。		
Q14.他のエスニックメディアに関する情報があれば教えてください(特にコミュニティ単位のメディア)	メディア同士の、横のつながりはほとんどない。	知らない。小さいコミュニティでは、フリーペーパーを作る余裕は、まだないように思う。 中国語メディア同士のつながりは、ある。	他のエスニックメディアとの関わりは少ない(大使館が主催する集会で顔を合わす程度)。	他のメディアについては、把握していない。つながりもない。	(未調査)	フィリピン人向けのフリーペーパー、3社(芸能記事を多く取り扱う雑誌が多い) 読者層や会社の持つポリシーも違うため、連絡を取り合うようなこともない。					難民事業本部が発行する雑誌に取り上げられているメディアは知っている(ベトナム・ラオス)